

施策マネジメントシート ～令和5年度の振り返りから令和6年度の取組へ～

①計画⇒実施 (Plan⇒Do)

(5月中に記入)

長期振興計画の位置づけ	まちづくり分野	しごと分野	担当課	経済観光課			
	政策分野	地域産業	課長名	松元 明和			
	施策	11 商工業の振興		重点施策の該当	R5	-	R6
施策の目的	対象	商工業者	意図	所得を増やす 経営力を向上する			

施策の目標指標

目標指標(単位)	指標の推移(下段の()書きは見込み値)					
	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度目標	令和7年度目標
法人市民税額(千円)	-	-	72,646.0	35,944 (34,900)	(36,645)	(38,477)
商店街空き店舗率	21.5	19.9	19.6	18.6 (20.0)	(19.0)	(18.0)

市民アンケート調査の結果(施策に関する重要度と満足度)

令和3年度実績		令和4年度実績		令和5年度実績		令和6年度実績		令和7年度実績	
重要度(%)	満足度(%)								
82.0	17.3	84.8	15.6	79.1	11.0				
重要度DI	満足度DI								
80.2	-19.6	83.8	-22.3	77.3	-28.0				

施策推進のための取組の成果を測る指標

基本事業名	関連戦略No.	成果指標(単位)	指標の推移(下段の()書きは見込み値)					
			2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度目標	7年度目標
港町(商店街)の活性化	8-16 13-33	法人市民税額(千円)	-	-	72,646	35,944 (34,900)	(36,645)	(38,477)
港町(商店街)の活性化		商店街の空き店舗率(%)	21.5	19.9	19.6	18.6 (20.0)	(19.0)	(18.0)
企業支援	2-4 5-9 5-10 8-20	企業活動支援延べ件数(件)	-	1	10	21 (6)	(9)	(13)
企業支援		商工会加入数(事業所)	-	-	499	509 (462)	(466)	(470)
地場製品の振興	1-2 2-3 2-4	ふるさと納税寄附額(万円)	-	-	21,061	19,789 (30,000)	(35,000)	(40,000)

②-1 振り返り(Check)

施策を取り巻く環境変化・市民ニーズ等への対応	
<p>令和6年2月に報告された九州財務局による県内の経済情勢では、「個人消費は、物価高による節約志向の高まりがみられるものの、経済活動の正常化を背景として、回復しつつある。生産活動は、依然として受注回復の兆しが見えていないなど、弱含んでいるほか、雇用情勢は、底堅く推移している。」としている。また、先行きについては、「雇用、所得環境が改善する下で、各種施策の効果もあって、回復していくことが期待される。ただし、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。」となっている。本市における個人消費は年後半にかけ物価高の影響が大きくなり、生産現場においては、年前半において仕入れ高含む経費の増加が見られたが、後半にかけては、商圏人口の拡大と物価の一時的な落ち着きもあり、大部分の業種において経営状況の回復が見られた。</p>	
施策の成果(貢献度の高い事業等)と現状・課題	
成果	<p>港町(商店街)の活性化については、市民が安心して商店街を訪れることができるよう防犯カメラ整備のための助成を行った。また、引き続き、まちかどインフォメーションセンターを活用したイベントを行うとともに、地域や若い世代との連携した新たな魅力づくりとしての助成として、Eスポーツイベントを市商工会青年部主催で行った。港町の活性化に関しては、西之表港の整備が本格化することもあり、国・県と連携した中で検討を進めている。企業支援については、急激な経営悪化に対応するための制度構築、商品券の発行事業等の助成、創業支援ネットワーク会議、特定地域づくり事業等の雇用対策、各種団体との協議を実施し、事業者支援を行った。地場製品の振興については、ブランド力向上のための都市部で実施される物産展への参加、テレビ、新聞等での特産品のPRを行った。ふるさと納税においては、新たな寄付返礼品として、本市産の和牛を加える等、寄付額の拡大に向けた環境整備を進めた。</p>
現状・課題	<p>新型コロナウイルス感染症の収束から回復傾向がみられるが、一方でエネルギー含む物価高騰、物流問題、金融不安等の課題が生じ、事業者においては難しい経営の舵取りが予想される。また、工事関係者の増加による消費の拡大もあり、収益機会の増加とコスト増加、メリット・デメリットが混在することもあげられる。状況に応じた様々な支援策を実施する上で、関係団体等との密な情報交換、連携強化を図る必要がある。</p>
今後の方向性	<p>今後の方向性の根拠等(他施策との連携、総合戦略との関連、環境変化等を踏まえ記入)</p>
拡大・充実	<p>様々な課題は山積するが、工事関係者の増加に伴う消費拡大を活かすことで、地域経済の回復に期待が持てる。その機会を活かし、重点施策として位置付ける港町(商店街)の活性化について、より具体化するとともに、中核施設の議論を進め、賑わいを創出していく必要がある。</p>

②-2 政策部会による振り返り(Check)

(6月中に記入)

今後の方向性	<p>政策部会で出された施策に対する意見等(将来像の実現に向けた課題や優先度、市民との協働のあり方など)</p>
拡大・充実	<p>【産業振興部会】 施策担当課の記載する方向性のとおり。</p>